

精神神経系症状

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	シメトレル 服用日付・時刻	異常な行動(有害事象)発 現日付・時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就 寝中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠驚愕症 等の既往	睡眠驚愕症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に関 する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料 No				
1	C01-3885	10	月	女性	痙攣NOS 嘔吐NOS 不機嫌	2001/4/26	昼寝 2001/4/26 19:30頃 17:00頃 2001/4/26 不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	不明	1日 1日 1日	不明	不明 不明 不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	25				
2	C01-8917	1	歳	男性	傾眠	2001/11/26- 1/30	不明	不明	不明	不明	7日	不明	2001/11/24: 39°C	不明	不明	不明	不明	不明	不明	傾眠傾向。頭部MRI施行(側脳室周囲やや高信号)	26				
3	C02-8872	1	歳	女性	蒼白 意識レベルの低下	2003/1/9- 1/16	不明	×	○	不明	3日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	保育所で昼寝後うとうとして顔面蒼白。しばらくして戻る。1/17昨日同様、保育所で すっとうとうとしていたが、昼寝後顔面蒼白。しばらくして戻る。1/19昼寝から起きな いので起こすと顔面蒼白。 保育所で昼寝後うとうとしてしばらく呼びかけにも反応せず。しばらくして戻る。1/17昨 日同様、保育所ですっとうとうとしていたが、昼寝後反応せず、低血糖も疑い砂糖をな める。しばらくして戻る。1/19昼寝から起きないので起こすと目の焦点があつていな かつた。	36				
4	B07000484	1	歳	男性	意識変容状態 痙攣 刺激無反応 泣き 喘息	2007/3/26 3/27	夜 朝	×	×	×	×	×	2007/3/26: 39.7°C 3/30:37.7°C	不明	不明	不明	なし	不明	不明	不明	不明	不明	60		
5	C99-19982	2	歳	女性	脳症	2000/1/18 1/19	20:00 不明	不明	不明	不明	21日	不明	2000/1/18: 38.5°C前後 1/19(12: 00):39~ 40°C 1/20(10: 00):39~ 40°C 1/22:38°C 1/24:37.5°C 1/27以降: 38.5~37°C	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	15分以上の痙攣出現。入院してからずっと入眠しており脳症を疑う。血小板値3.7万に 低下状況からDICを疑う、治療開始。その後の頭部CT撮影にて側頭部から視床にか け梗塞像あり。脳浮腫もみられた。	11	
6	C00-2213	2	歳	女性	痙攣NOS	2000/2/6- 2/11	不明	不明	不明	不明	5日	不明	2000/2/5(発 熱あり)	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	解熱後、約2~3分の痙攣出現	16		
7	C02-8261	2	歳	女性	間代性痙攣	2003/1/8- 不明	不明	不明	不明	不明	7日	不明	2003/1/8 19:20:39°C 2003/1/13: 40°C以上 1/14昼:38°C 台、19:00: 36°C台	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	手足のびくつきから始まる。強直性・全身性のけいれんが約30分持続した。救急受診 時、末梢のチアノーゼあり。	35		
8	C02-9348	2	歳	男性	血中クレアチン・ホスホ キナーゼ増加 浮動性めまい	2003/1/13 1/14 1/14(11:30 以降)-1/15	夕方 8:00、11:30 不明	不明	不明	不明	8日	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	38		
9	C00-1834	3	歳	女性	意識レベルの低下 意識レベルの低下 脂質代謝障害NOS	2000/4/1 4/1午前以降 4/6	午前 不明	×	×	×	2日	不明	2000/4/1 前:39.4°C 4/3午前: 38.2°C 4/4午前: 37.4°C 4/7午前: 4/8午後: 37.3°C 4/24:37.3°C	不明	不明	なし	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	急に暴れたし、尿失禁後昏睡状態になる。 点滴開始後の尿アミド(-)、尿酸(+++)で入院加療となる(後日、尿チルマロ酸高値 23.7μg/mg、正常値3μg/mgと判明)。血糖192mg/dl 顔面蒼白となり眠り出す。たたいもおきず、応答なし。	15
10	C00-2573	3	歳	男性	意識消失NEC 末梢冷感 蒼白 末梢冷感 蒼白	2000/2/19 2/20 2/23 上記以外の 2/20-23	不明 16:00 8:30 不明	×	×	×	5時間	不明	2000/2/17: 39.5°C	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	四肢冷感を伴う 顔面蒼白 四肢冷感を伴う 顔面蒼白	17	
11	C01-1290	3	歳	男性	熱性痙攣	1999/1/28	夜	不明	不明	不明	同日	不明	1999/1/28 夕方:39°C 1/30:36- 37°Cに解熱	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	けいれん発現1-2分間	20	
12	C01-1302	3	歳	男性	眼筋麻痺NOS 意識レベルの低下	2001/3/2	18:00	不明 不明	不明 不明	不明	同日 同日	不明	不明	なし	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明		
13	C03-741	3	歳	男性	痙攣NOS	2003/1/25	夜	×	不明	不明	2日	不明	2003/1/25 夜:38.5°C	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	1点凝視、ボシヤリとしたconvulsionを認めた	44		
	B07007523	3	歳	女性	大脳障害	不明(イン フルエンザ発 症第3病日 目)	不明	不明	不明	不明	後遺症	-	第1病日目: 38°C 第2病日目: 38.5°C 第4病日目: 解熱	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	(第3病日:本剤投与前)傾眠がらでありながら、突然開眼し両下肢をバタバタさせたり、 看護師をたいたりと意識レベルの変動があった。その後、強い刺激のときに体 動がみられるのみとなり、3-3-9度式による意識障害レベルは、200と判断した。瞳孔 反射は左右とも保たれ、膝蓋腱反射・アキレス腱反射とも1+、項部硬直などの髄膜刺 激症状はなかったが、バビンスキー反射は陽性だった。入院。			